

(別添 1)

(※本書式は、河川毎に作成し、原則として国土交通省(市区町村にあっては都道府県經由にて)に個別計画の提出時にあわせて提出願います)

令和4年度 緊急浚渫推進事業計画(河川)				
		都道府県名 富山市 又は 市区町村名		
		河川名 神通川水系宮路川(準用河川)		
		担当課室名 河川整備課改良係		
		連絡先 076-443-2100		
事業名	神通川水系宮路川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (浚渫箇所(所在地))	富山市が管理する準用河川宮路川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫箇所: 富山県富山市長江一丁目 【別図参照】			
実施予定期間	令和3年度~令和6年度(4年間)			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位: m3) <small>※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、(m2)書きで記載</small>	令和2年度	-		第4種建設発生土 <small>※目視による見込みであり、実際と異なり得る。</small>
	令和3年度	20m3		
	令和4年度	100m3		
	令和5年度	120m3		
	令和6年度	240m3		
	計	480m3		
予定事業費 (単位: 千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度	-	-	-
	令和3年度	700	700	0
	令和4年度	2,500	2,500	0
	令和5年度	3,000	3,000	0
	令和6年度	5,800	5,800	0
	計	12,000	12,000	0
事業の必要性、緊急性	<ul style="list-style-type: none"> ・準用河川宮路川は市街地を流れる流路延長2.2kmの基幹河川であり、はん濫等が発生した場合の被害が甚大である。 ・準用河川宮路川では、経年的な土砂堆積により流下能力が低下(流下断面が阻害)しており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和4年度現在、河道内の土砂堆積量は460m3であり、早期の流下能力(断面)確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。 			
浚渫目標	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度~令和6年度の4年間で、重点的に浚渫すべき区間を対象として480m3の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の計画断面を確保する。 			
河道の状態把握	<ul style="list-style-type: none"> ・基本データの収集(水位・雨量): 水位計及び雨量計設置による常時観測(令和4年度より) ・水位計及び雨量情報のホームページでの公開(令和4年度より) ・河川パトロール: 原則年1回実施し、全河川区間を5年間で一巡できるような範囲を設定 ・土砂堆積状況の把握: 年1回のパトロール時に土砂堆積状況の定点観測 			
その他 <small>※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載</small>	<ul style="list-style-type: none"> ・水位計及び雨量計設置箇所の複数化。 ・河川パトロールの頻度の向上。 ・土砂堆積状況の定点観測結果を活用して、地点毎での土砂堆積量を予測し、浚渫計画に反映。 ・発生土は公共残土置き場へ搬出予定 			